

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援 ルピナス教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1 月 20 日		～ 2025年 2 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年 1 月 20 日		～ 2025年 2 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1 月 20 日		～ 2025年 2 月 20 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2 月 28 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・現状利用児が弊所のグループの児童発達支援、放課後デイサービスを利用しているので情報共有がしやすい。 ・また共通認識にて連動して支援がしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に各利用施設（児童発達支援、放課後デイサービス）での利用児の様子をリサーチしている。 ・また、児発管及び担当者から訪問先でのカンファレンス時の質問内容のすり合わせをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に訪問支援員が各利用施設（児童発達支援、放課後等デイサービス）を訪問し実際に支援を行い課題等を検討する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の支援の意向等や利用児の課題、現況等を利用施設（児童発達支援、放課後デイ）にスムーズに情報提供が出来る。 ・利用児を長期に渡り支援している経験豊富な職員が担当している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の課題や支援内容を訪問先と共有できるように訪問後カンファレンスの時間を設けて頂いている。 ・訪問後速やかに出来るだけ詳細な報告書を保護者に提出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先に適切なアドバイスができるように専門分野でのスキルアップを図れるような体制を整える。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が少ない為多角的視野からの支援が薄い。	訪問支援への協力体制を強化しておらず訪問支援員のみに任せてしまっている。	研修を通して資質向上を図る。 支援会議の充実化を図り利用児童への場面ごとの適確な支援方法のピックアップをおこない訪問先での支援や担当者からの質問等への回答に活かす。
2	個別支援計画に沿った訪問支援の実施が難しい。	利用者や保護者のニーズを取り入れた個別支援計画の説明不足	個別支援計画への理解と把握を促す為に立案時には担当者の意向を確認し個別支援計画に反映させる。 訪問日前には担当者で打合せを行う。
3			